



とうかい

第 23 号

公立学校
共済組合 **東海中央病院**

◆基本理念◆

「最高の誠意」「最善の医療」

◆基本方針◆

- (1) 患者さま尊重の医療
- (2) 診療機能の向上
- (3) 健全経営の維持

新 病 院 長 挨 拶

伊 藤 勝 基



桜も終わり、新緑の季節を迎えております。皆さま方にはお元気に日々をお過ごしでありましょうか。

この4月より赴任致しました新任院長の伊藤勝基でございます。よろしく願いいたします。

前任の間野忠明院長から、この伝統ある東海中央病院の院長業務を引き継ぎ身の引き締まる思いを致しております。

東海中央病院は各務原市で唯一の急性期一般総合病院として、地域の皆さまの健康を守るためにあると心得ております。救急医療にも力を入れ、各務原市の市民の皆さまが24時間安心して働き、楽しく生活できるように医療の側面からサポートしたいと思っております。

病院の理念としては前々院長の高橋先生が提唱した「最高の誠意、最善の医療」にさらに「最速の対応」付け加えるつもりです。実際の治療に関しては治療の本質をわきまえ、しかも安全を第一と心掛け、ご本人、及びご家族と十分に話し合った上で、安心して受けられる治療を行なう所存です。

また、健診領域にも力を入れ、病気の早期発見や、生活習慣病の予防にも目を向けております。

私自身が米国の医師免許を有し、米国で一般外科の修練を終えた外科医であり、名古屋大学第2外科では大腸を主とする消化管外科医でありました。私自身も最前線に立って働くつもりであります。

2年後にはすく西側に現在の病棟に代わる新病棟が立つ予定であります。新病棟に移転するまでの2年間の間に外の建物だけでなく、日進月歩の医療が行なえるよう内部のシステムの変更も始めております。

皆さまのご協力、ご支援をお願いいたします。

逆流性食道炎について

内科 赤澤知行

逆流性食道炎という病気をご存知ですか？

胃潰瘍や十二指腸潰瘍なら知っているけど、という方もいらっしゃるかも知れません。

食べ物は口から入って食道、胃、十二指腸、小腸、大腸の順に消化、吸収という過程を経て通過し、最終的には便となって肛門から出て行きます。

胃の中ではたくさんの胃酸が作られ、強い酸性となっておりますが、食道の下のほうの筋肉（下部食道括約筋）がギュッとしめつけて胃酸が食道内に逆流しないようにしています。この筋肉の働きが弱くなって胃酸が食道に逆流し、食道の下のほうを中心に粘膜障害が起こったものを逆流性食道炎といいます。

また、逆流性食道炎と非常に関連の深い病気として食道裂孔ヘルニアという病気があります。ヘルニアとは本来あるべき場所がないという意味のラテン語です。

食道と胃は横隔膜を境にしてつながっていますが、その横隔膜にあいた境目の穴のことを食道裂孔といいます。

胃は本来横隔膜の下にあるわけですが、胃の一部が横隔膜の上に位置していることを食道裂孔ヘルニアといいます。この状態であれば、胃酸は通常より上のほう、食道に逆流しやすくなります。

食道裂孔ヘルニアはおなかの圧力（腹圧）の上昇で起こり、加齢に伴う姿勢の変化（前かがみの状態が増えたりすること）、肥満、妊娠（赤ちゃんによって腹圧上昇）などで起こりやすいとされています。

近年、日本で逆流性食道炎の方が増えているといわれていますがなぜでしょうか？

逆流性食道炎は先に述べましたように胃酸が食道に逆流する病気です。食生活の欧米化に伴い脂肪分の多い食事を摂取する機会が増加したこと（＝胃酸分泌の増加）、また食生活の変化・社会構造の変化で肥満や高齢者の増加（＝食道裂孔ヘルニアの増加）、ストレスの増加（胃酸分泌の増加）が原因になると思います。

症状ですが「胸やけ」「げっぷ」「のどの違和感」「ものが飲み込みにくい」など言った症状があります。胸やけは特に食後強くなります。また長く続く咳の原因にもなるとされています。

診断ですが、胃カメラやバリウム検査で行いますが、バリウム検査では難しい場合もあります。

治療ですが、薬物療法と食事・生活療法があります。薬物療法ですが胃酸の分泌を抑える薬を飲んでいただきます。食事においては、脂っこいものや刺激物などの胃酸をたくさん分泌させるものは控えていただいた方が良いでしょう。

日常生活では、食後すぐに横にならない、おなかを強く圧迫しないことなどがあげられます。

逆流性食道炎という病気はもちろん良性的の病気ですが、放置することによって食道の炎症がひどくなり血を吐いたり、食道が狭くなってしまふことがあります。また食道腺癌というタイプの癌の発生も増加します。

胸やけなどの症状がある方や、現在逆流性食道炎にて治療中の方には定期的な受診・検査を勧めしておりますので宜しくお願いします。



平成18年 4月医療費改定について (抜粋)

医 事 課

平成18年4月の医療費改定により、以下のように変更になりました。

◎外来における基本診療料について

- | | | | |
|-------|------|---|------|
| | 改定前 | | 改定後 |
| * 初診料 | 255点 | → | 270点 |
- 同一日に他の傷病について別の診療科を初診として受診した場合 → 135点
 - 紹介状をお持ちでない方は、1,575円(初診特定療養費)が別途必要となります。
 - 乳幼児及び時間外・休日・深夜は更に別途加算があります。

- | | | | |
|--------------|-----|---|-----|
| | 改定前 | | 改定後 |
| * 外来診療料(再診時) | 72点 | → | 70点 |
- 乳幼児及び時間外・休日・深夜は別途加算があります。

◎入院基本料等について、看護職員等の配置に係る表記が変更されます。

改 定 前	改 定 後
「看護職員配置 2 : 1」	「看護職員配置10 : 1」
入院患者 2 人に対し看護職員 1 人を雇用していること意味	平均して入院患者10人に対し看護職員 1 人が実際に勤務していることを意味

◎入院時の食事負担が、1日単位から、1食単位に変更されます。

	変更前		変更後
① 一般の方	1日につき 780円	→	1食につき 260円
② 市町村民税非課税の世帯に属する方等 (③以外の方)	1日につき 650円	→	1食につき 210円
③ ②のうち、所得が一定の基準に満たない 70歳以上の方等	1日につき 300円	→	1食につき 100円

- 上記の②及び③に該当する方は、加入している医療保険の保険者(老人保健は居住地の市町村)の発行する減額認定証を、被保険者証等に添えて医療機関の窓口提出することにより、減額が受けられます。
- 詳しくは、加入している医療保険の保険者(老人保健は居住地の市町村)までお問い合わせください。
- 医療機関で提供される食事の内容が変わるものではなく、食事の負担額について、食数に関わらず1日単位で計算していたものを1食単位の計算に変更するものです。

新任医師紹介



脳神経外科 谷川原 徹哉

この度、脳神経外科部長に着任いたしました谷川原徹哉と申します。
前任地の県立岐阜病院では脳卒中・頭部外傷などの急性疾患を中心に脳腫瘍、顔面けいれん、脳膿瘍など脳神経外科疾患全般に治療を行ってきました。
各務原市の地域医療に貢献できるよう努力して参りますので、よろしくお願い申し上げます。



脳神経外科 山田 潤

この度、脳神経外科に着任した山田潤と申します。3月までは国立循環器病センターに勤務しておりました。
脳血管内治療を含めた脳血管障害を中心に脳神経外科診療を行わせていただきます。部長の谷川原とともに、地域医療に貢献できるように努力する所存です。どうぞよろしくお願いいたします。



眼科 岩本 将吾

この度、4月より眼科に着任いたしました岩本将吾と申します。
診察の際は「患者さまにわかりやすい医療」を心がけて病状説明を行いますので、疑問点があれば何でも質問してください。
今後、各務原市の地域医療に貢献できるように頑張りますので、よろしくお願いいたします。



内科 竹内 美征

この度、4月より内科に着任いたしました竹内と申します。
内科の中では糖尿病を中心に甲状腺などの内分泌疾患も合わせて担当させていただきます。
現在増加の一途をたどる生活習慣病のうち、糖尿病は様々な合併症を引き起こす大変厄介な疾患ですが、適切な治療や自己管理で対応すれば、合併症の出現や進行は抑えることができます。自覚症状に乏しくなかなか治療への意欲がわきにくいですが、症状が出たときはすでに合併症が進んでしまっていますので、「症状はないけど血糖値が高いと言われたことがある」という方は是非受診していただきたいと思います。
今後各務原を中心とした地域医療に十分貢献できるよう努力させていただきますので、よろしくお願いいたします。



内科 辰岡 浩樹

はじめまして、この度、4月より呼吸器内科レジデントに着任いたしました辰岡浩樹と申します。出身は大阪で趣味として登山をしております。
呼吸器科診療を通じて、地域の皆様の健康作りに少しでもお役に立ちたいと思っております。よろしくお願いいたします。

◎初診・再診受付時間▶ 8:30～11:30

◎毎週土・日曜日祭日全科休診

保険証等の提示
お願い 月に一度は保険証・医療証等を保険証提示窓口
に提示してください。



発行：〒504-8601 各務原市蘇原東島町4丁目6番地2
公立学校共済組合 東海中央病院
電話 (058) 382-3101 / FAX (058) 382-1762
URL <http://www.tokaihp.jp>
発行人：病院長 伊藤 勝基 発行：年4回